【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

Teams「AI音読の練習」を活用して、一人ひとりのスピーキング練習を効率化

【中学校英語】全学年

「リピート・アフター・ミー」は、 英語学習におけるスピーキング練 習の定番であるが、時間の制約も あり、授業で教師が生徒一人ひと りの発音を指導したり、評価した りすることは難しかった。

しかし、Microsoft「Teams for Education」の「AI音読の練習」機能を利用することで、授業の最初で実施できる。とは自身もAIが示さきる。生徒自身もAIが示に修正解率)をではではので、個々の能力にないで、個々のではないではないできるにいるが変数をはいかであることができるにいて対象では、クラウによいのでは、数師は生徒一人といるないの習得状況や伸びを把握しなった。

